



編集兼発行
公益財団法人 小笠原協会
東京都港区海岸1-12-2
竹芝客船ターミナル2階
電話 03-3432-4921
FAX 03-3432-4487
振替貯金口座(郵便)
00190-9-64610
みずほ銀行芝支店
普通 3242428

新春のご挨拶

小笠原協会 会長 渋井 信和



小笠原旧島民・島民の皆さま、会員をはじめ小笠原に係わられるすべての皆さまに謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、北朝鮮から発射されたミサイルが日本の排他的経済水域に落下したり、上空を通過するなど、核・ミサイル問題が我が国の平和と安全を脅かした緊張した一年でありました。

戦争による惨禍を身をもって体験されて来られた小笠原旧島民の皆さまは勿論のことと存じますが、小笠原協会といたしまして、今年が戦争や紛争の無い平和な一年であって欲しいと強く願うものであります。

さて、昨年の当協会の活動を振り返ってみますと、新しい事務局長のもと業務改善を推進するとともに、役員等の皆さまの多大なるご協力を得まして、年間事業計画は概ね順調に進展することができました。協力して頂いた役員、関係者の皆さまに厚く御礼申し上げます。

とりわけ、秋季恒例の小笠

原訪問交流ツアーは、昨年の新造船就航から一年以上が経過して、参加者の減少を懸念していましたが、180人近い大勢の皆さまの参加を得て大成功に終わることができました。また昨年も、全国の離島が集って11月に開催された、「アイランダー2017」に参加し(3回目)、硫黄島の昔と今を伝える小笠原写真展のブースを開設いたしました。これには昨年を大幅に上回る、1500人ものお客様にお越しいただき、アンケート調査にも630人の皆さまのご協力を得て、大盛況に終わることができました。

皆さまから頂いたアンケート調査の貴重な情報につきましては、次号で改めてご紹介させていただきます。

さて、今年は、昭和43年6月26日に小笠原諸島が日本に返還されてから50周年という記念すべき年であります。

「小笠原返還」ということを目にし聞くにつけ、返還運動に命を捧げて闘ってこられた、当協会の前身でありました「小笠原島帰郷促進連盟」の諸先輩の皆さまのご苦労とご功績を思わずにはいられません。

敗戦直後の厳しい米国の占領下にあつて、昭和22年7月のマッカーサー連合国総司令官への帰島請願陳情に始まって、その後、日本政

府はもとより米国大統領、国務長官、国防長官、米国海軍などの米国要人等に対して100回以上にわたり帰島に向けた請願、陳情を繰り返し粘り強く行つたその強靱な精神力と活動力には驚嘆せざるを得ません。

小笠原諸島返還はこのような返還運動を強力に推進してこられた、諸先輩の不撓不屈の努力があつたればこ

新年を迎えて

東京都知事 小池 百合子



新年明けましておめでとうございます。

新しい年が小笠原の皆さまにとって、希望に満ちた幸多き年でありますよう心からお祈り申し上げます。

小笠原協会の皆様が、日頃から旧島民の皆様の帰島相談や援護活動、また、小笠原を愛する多くの人たちとの交流を深める小笠原交流ツアーの企画などを通じて、小笠原の振興に多大な貢献をされていることに心より感謝申し上げます。

今年は、小笠原諸島返還五十周年という大きな節目の年です。昭和十九年の強制

そと、心から敬意を表するとともに感謝申し上げる次第でございます。この精神を受け継いで来た当協会といたしましては、微力ではありますが、諸先輩の皆さまの思いを胸に、これからも小笠原諸島の振興と発展のために、村、都、国に協力して尽力してまいります。

関係者の皆さまのご理解とご協力を今後ともよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、今年一年が皆様にとりまして幸せな一年となりますようご祈念申し上げます。して新年のご挨拶とさせていただきます。

疎開以後、小笠原に島民が帰島できない状況が長く続き、小笠原諸島の大部分が荒廃したと聞いております。昭和四十三年の返還以来、その荒廃の中から立ち上がり、生活や産業の基盤整備等を進め、今日のような姿に発展を遂げてまいりましたのも、村民の皆様や関係者の皆様のご努力によるものと、深く敬意を表します。

返還五十周年プレ・イヤーとなった昨年は、小笠原ヨットレースをはじめ、多くのイベントが行われ、返還五十周年への機運が高まっていると伺っております。今年執り行われます、記念式典を始めとした様々な記念事業を通して、小笠原諸島の歴史や自然、国境離島としての地理的重要性が、広く国民に認識される年となるでしょう。

東京都では、返還から現在に至るまで、小笠原諸島振興

開発特別措置法に基づき、五年ごとに小笠原諸島振興開発計画を定め、道路・港湾などの基幹的な施設整備を重点的に進めてまいりました。現在の計画は、平成二十六年度から平成三十三年度までの小笠原諸島振興開発事業を定めており、今年、計画の最終年度を迎えます。当計画は、「生活の利便性の向上」、「地域特性を生かした産業振興・雇用拡大」、「自然環境の保全・再生」の三つの方向性を基本とし、多くの課題を解消しつつ着実に推進されています。返還から五十年が経過し、小笠原を取り巻く環境も大きく変化してきましたが、引き続き、住民生活の安定・福祉の向上、定住の促進を図り、小笠原諸島の自立的発展を目指していきます。

さて、昨年六月には、小笠原の南硫黄島で、重要な発見がありました。絶滅危惧種「アカシカツオドリ」の集団営巣地の国内初確認と、絶滅したと考えられていた「シマクモリソウ」の七十九年ぶりの再発見です。小笠原諸島が世界自然遺産に登録されて、今年で七年が経過しますが、現在においてなお、世界的に顕著な普遍的価値を有していることを再認識いたしました。東京都は、このような素晴らしい小笠原諸島の自然を次世代に確実に引き継ぐために、外来種対策や植生回復事業などの環境保全対策にも引き続き取り組んでまいります。

航空路につきましては、昨年七月、小笠原航空路協議会を約七年振りに開催いたしました。自然環境との調和は、小笠原への航空路の検討におけるもつとも重要な要素の一つですので、今後は、自然改変の程度を軽減させた場合の航空路案についても、具体的

検討を進めてまいります。引き続き、国や小笠原村など関係機関との調整を緊密かつ丁寧に行うとともに、課題に関する調査を実施し、関係者間の円滑な合意形成を図りながら、小笠原で実現可能な航空路案が取りまとめられるよう、精力的に検討を進めてまいります。

今後、都民ファーストの視点に立ちながら、産業振興、交通アクセスの向上、医療・福祉等生活環境面の改善

新年のご挨拶

小笠原村長 森下 一男



あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成30年の幕が開け、いよいよ小笠原諸島日本復帰50周年を迎える年となりました。小笠原諸島の発見、定住、開拓の歴史による繁栄から一転、戦況の悪化による全島民の強制疎開、戦後の米国統治という激動の歴史を経て、昭和43年に小笠原諸島はようやく日本に復帰いたしました。

それから50年。諸先輩方や多くの関係者のご尽力によって今日の小笠原村が再び築き上げられてきたところでございます。

本年は、これまで先人たちが築き上げてきた歴史や伝統を振り返り、村の魅力を再認

公共施設の老朽化対策、南海トラフ地震等の発生に伴う大規模津波対策など、多くの課題に取り組み、小笠原協会の皆様方のご理解ご協力をいただきながら、豊かな自然と調和のとれた島づくりを行ってまいります。

結びに、小笠原協会の今後益々のご発展と小笠原の皆様並びに関係者のご健勝とご多幸を祈念して新年の挨拶いたします。

平成三十年 元旦

識して次世代へ伝え、郷土への誇りと愛着を高め、明るい未来に向けた魅力あふれる小笠原を創造していくために、全村をあげて記念事業に取り組んでまいりたいと考えております。

村民の思いを一つにして記念すべきすばらしい1年にしてまいりたいと考えておりますので、村内外の小笠原に関係する方々におかれましては、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

さて、50周年を迎える小笠原村にとっての最大の課題は航空路の開設でございます。

返還以来の村民の悲願でありながら、これまで2か所の候補地が見直されるなどの曲折を経て、平成13年からは洲崎地区、硫黄島地区、水上飛行機、聶島の4案、平成21年には聶島が対象から外れて3案での検討が進められてきたところでございます。

長期間にわたり多くの調査、検討が行われてきたにも関わらず決定的な進展は見られない状況が続いてまいりましたが、昨年7月、東京

都による小笠原航空路協議会が開催され、これまでの検討状況に加え、洲崎地区活用案を軸とする今後の検討の方向性が示されたところでございます。

解決すべき課題はまだ多くございますが、節目となる今年こそ、東京都や国、関係する方々のご協力のもと、何としても飛行場建設の方向性を見出してまいりたいと考えております。

また、現行の小笠原諸島振興開発特別措置法は、平成30年度末に期限を迎えます。国、都、村による改正、延長に向けた検討作業が進められているところです。復帰50年後最初の法律となることから、将来を見据え次代に即した小笠原諸島の振興開発が可能な法律となるよう、検討及び要望活動を進めてまいります。

硫黄島訪島事業につきましては、昨年、渇水や係留の諸問題により洋上での慰霊となりました。今年はぜひとも旧島民の方々と上陸し、墓参、慰霊を行いたいという強い思いを抱いております。再開に向けては様々な難題がありますが、関係機関の協力を仰ぎながら、実現に向けて進めてまいりたいと思っております。

これからの50年、さらなる未来へ、村民生活がより明るいものとなるよう、多様化する各分野の業務に一つ一つ丁寧に取り組み、暮らしやすく住み続けたい村づくりにより一層努力してまいります。

皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。最後にになりましたが、今年一年が皆様方にとってよい年になることを願ひまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

小笠原諸島返還50周年を祝う

今年は、小笠原諸島返還から50周年の佳節です。

1968(昭和43)年6月26日(水)午前0時をもって小笠原諸島が米国から日本に返還されました。小笠原諸島にとって、日本にとって歴史的な日です。この日、東京(日比谷公会堂、午後1時)そして、父島(米海軍司令部前、12時)、硫黄島(摺鉢山、12時)の3会場で、それぞれ返還式典が執り行われました。

小笠原諸島は、1945(昭和20)年8月15日の太平洋戦争終結から23年間という長きに渡って米国の占領下におかれました。

また、当時、小笠原諸島(父島、母島、北硫黄島、硫黄島)に居住していた島民は、1944(昭和19)年に当時の日本国政府の命令により、たった二つの手荷物だけを許されて内地に強制疎開させられ



帰島促進の署名簿を渡す福田会長(米国防省)

ました。こうして、故郷を追われたことや、見知らぬ土地で、人知れず苦難の生活を強

いられたことは後世の人々に決して忘れて欲しくないことです。その過程で望郷の無念の涙をのんだ多くの人々がいたことを忘れ、見捨てることとは決してあつてはいけないことだと思います。特筆すべきことは、小笠原



東京日比谷公会堂での記念式典は、小笠原協会の主催(現天皇・皇后陛下・当時の皇太子・皇太子妃殿下)

諸島はただ黙って返還されたのではないということです。当時の旧島民の帰郷への強い気持ちとその心に呼応した人々による粘り強い運動が歴史を動かしたのです。私



父島では、米海軍司令部屋上の星条旗が降され、日の丸が掲揚された。



あれ、故郷に住み、故郷に帰るという当たり前の権利を奪われた歴史を繰り返してはいけないからです。そして、いかなる国の人も等しく故郷を持ち、故郷に帰る権利があることを小笠原諸島の歴史は示しました。私たちの先人は、戦争により失われた故郷を、粘り強い返還運動により、自らの力でそれを勝ち取ったと言えます。いずこの地であれ歴史の不幸は、それを忘れたときに繰り返されます。

返還50周年記念事業開始さる
小笠原諸島返還50周年記念事業実行委員会

小笠原村の記念事業実行委員会では、返還50周年を記念して、2018(平成30)年6月に返還記念式典を執り行うほか、前年のプレイベントに引き続き周年を通じて、主催・協賛等含め祝賀行事を開催する。各月とも見どころ満載。是非、この機会に多くの人に小笠原に来島して頂きたいとのこと。

このほか、東京竹芝での、小笠原DAY(2月12日)、や島じまん2018(5月26、27日)にも記念事業の意義を込めて参加する。なお、表に記載の事業は現段階の予定であり、今後変更されることもあり、今後変更されることもありますが、主催者発表情報でお確かめください。

『夢受け継いで50年、未来へ羽ばたけ小笠原』

小笠原諸島返還50周年キャッチコピー：矢吹美智子氏(栃木県)



小笠原諸島返還50周年シンボルマーク：宮崎信行氏(東京都)

	主催事業等	父島(協賛・補助事業)	母島(協賛・補助事業)
1月		カウントダウンパーティ(12月31日) 海開き(1日)凧揚げ大会(8日)天体観望会(下旬)	海開き(1日) 凧作り教室(26~28日予定)
2月	小笠原DAY参加(竹芝：12日)		
3月		ガラパゴス諸島との学生交流(3月予定)	
4月	料理レシピコンテスト(父島：未定)、創作料理講習会(母島：未定)		
5月	島じまん2018参加(竹芝：26、27日)	小笠原村産業祭：小笠原の産業まるごと体験(上旬)、記念寄席(21日予定)	母島フェスティバル：母島物産の販売・試食(上旬)、記念寄席(22日予定)
6月	母島返還祭・大花火大会(母島：23、24日予定)、父島返還祭(26日)*50周年記念誌発行 返還記念式典・記念パレード(父島：30日) 小笠原諸島の歩み映像上映(6~8月)	沖の島島ツアー(村主催：上旬) 天体観望会(未定) *島の音楽CD完成配布(未定)	ゲートボール大会(中旬) 天体観望会(6~7月) *島の音楽CD完成配布(未定)
7月		中吉丸歴史継承・交流(未定)、アウトリガーカヌーレース大会(中旬)、島しょ高校生サミット(未定)	
8月	大花火大会(父島：中旬)	サマーフスティバル(8~9月概ね1ヶ月) 天体観望会(未定)	母島納涼祭(下旬)
9月	小笠原DAY929(竹芝：下旬)	小笠原の過去・現在・未来を捉えるドキュメンタリー映画上映(未定)	アウトリガーカヌーレース大会(中旬)
10月	文化歴史交流祭(父島7日、母島8日) 明日を考えるシンポジウム(父島：21日) 大音楽祭(父島、母島：下旬)	父母交流スポーツ大会(10~12月)	
11月	小中高合同同窓会(父島、母島：11~12月)	三社合同神輿渡御(中旬)	
12月		記念剣道大会(下旬)	

賛助会入会をお願い

小笠原協会は、小笠原諸島の旧島民の方々の帰島支援や機関紙等の発行、交流ツアー開催、イベント出展などにより広く全国の皆様の小笠原諸島へのご理解を求め、小笠原村の振興支援の活動を進めています。これらの活動は賛助会員の皆様方の会費収入に支えられており、深く感謝申し上げますとともに、引き続きのご支援をお願いいたします。また、新たな皆様にも、協会の活動の趣旨をご理解いただき、賛助会へのご入会をお願いしています。会員の方への特典として、おがさわら丸の乗船割引、機関誌・紙の配布をしています。詳しくは、当協会のホームページをご覧ください。お問い合わせください。

割引証明について

昨年8月から、個人賛助会員の皆さまには、賛助会員証を発行しています。「おがさわら丸」ご利用の際の割引証明の手続きが簡単になりました。小笠原海運でおがさわら丸の乗船予約をされる際に、賛助会員証の写しをファックスされるか、郵送することによって、割引証明になります。

30年度賛助会員更新手続き

また、平成30年度の賛助会員更新手続きにつきまして、は、本年3月に会費納付書(振込書)をお送りしますので、宜しくお願いします。個人賛助会員証につきましては、納金確認次第お送りします。

なお、旧島民及び関係者(ご子孫、配偶者)の方は、おがさわら丸の割引対象です。割引証明を受けられる方は、従来通り小笠原協会にお電話ください。

第18回 小笠原島訪問・交流ツアー

昨年10月31日～12月5日に176人の参加者で、恒例の小笠原訪問・交流ツアーが催行されました。お陰様で第18回目のツアーとなりましたが、これは長年変わらぬ小笠原村の皆様の温かいお出迎えなくしてはできないことです。父島・母島の皆様、小笠原村役場の皆さまに深く感謝します。

ツアーは、10月31日午前11時、竹芝出発からの24時間の船旅が参加者同士の初めの交流のひと時です。参加者は島への思いをはせながらも、参加者同士、船内ですっかり打ちとけていました。11月1日11時父島着・母島には14時着二見港でのスティールパンの熱烈なお出迎えに度肝を抜かれ、初日の夜には、島の皆さんの心温まるお出迎えと歓迎の交流会（父島・船客待合所。母島・村民会館）が開催されました。



① 幻想的な雨の母島北港

た。朝早くから準備をしてくださった島寿司、料理や時間をかけて煮込んでくださった亀の煮込みに舌鼓を打ちながら、島の皆さんによる南洋踊り、太鼓、スティールパン（父島）の演奏など満喫させて頂きました。母島の交流会では、最



② 相撲大会（大神山神社）本格的な土俵で、子供・女性の相撲もありました。写真は、成人男子の迫力ある一場面です。

後に島の皆さんと交流団が肩を組み、一緒に島の唄を歌い心温まる楽しい時間を惜しんでいました。

雨の多いツアーになりましたが、参加者一人一人がダイビングや戦跡ツアーなどそれぞれ思い思いに楽しまれていたようです。

す。また、ご先祖のお墓参りや、旧島民のご両親の島での生活を偲び、足跡を辿られた参加者もおられました。父島では、丁度お祭りの時期であり、神輿や相撲大会、演芸（カラオケ）大会などを楽しむことができました。圧巻のお見送り



③ 二見港・島の皆さんのお見送り



④ 胸の熱くなる最後までのお見送りを本当にありがとうございます。

には、帰りの船の中で、胸が熱くなりました。このお見送りに来年も必ず参加すると話される方もおり、島の皆様のおかげで感動の交流ツアーとなりました。参加者の感想やアンケートの結果は、次号以降の本紙でご紹介させていただきます。

写真提供
①②④⑦ 渡邊 英昭氏
③⑤⑥⑧ 井部 昌之氏



⑤ 父島交流会（スティールパン：交流参加者も体験させていただきました）



⑥ 父島交流会 南洋踊り。唄：大平京子さん



⑦ 母島交流会・最後に全員で「小笠原望郷歌」（北国の春替え歌）を大合唱



⑧ 亀鍋完食直前 森下村長、村役場の皆様ありがとうございます。

国土交通省、公益財団法人日本離島センター主催の「アイランダー2017」が、11月18日（土）、19日（日）の両日、池袋サンシャインシティ文化会館で開催されました。

日本の島は、日本の領域や排他的経済水域を守るといふ島の国家的役割と、食料の供給や癒しの空間の提供といった国民的役割を持っていますが、近年、高齢化や人口減少の課題に直面しています。このため、アイランダーは、毎年、島の魅力や求人情報などを幅広くPRし、島で働き、また島を体験することで、島で暮らすきっかけ作りを目指して開催されています。（公財）小笠原協会は、昨年に引き続き、硫黄島の戦前戦後を中心に小笠原諸島のパネル展示を行いました。当協会の展示ブースは大盛況で、1500人

大盛況のアイランダー2017



を超える見学者が訪れ、昨年を上回る600人以上の方からクイズ・アンケートの回答を頂きました。参加者は、硫黄島の歴史や現状をパネルで確認しながら、「何故、帰れないんですか?」「大変、勉強になりました。」「戦前は、こんなに多くの人が住んでいたんですね」などの声が寄せられました。また、隣のブースでは、小笠原村が、求人情報紹介・相談コーナーを設け、ともに小笠原のPRに努めました。各ブースでは、各島の情報や物販など、多様な工夫がなされており、イベント広場では、各地方の太鼓や踊りなど、多彩な催しが繰り広げられ、家族づれで楽しめる2日間でした。

計報

謹んでご冥福をお祈り
申し上げます。

菊池 康子様 93歳
平成27年10月16日ご逝去
硫黄島出身

高橋 好美様 82歳
平成29年8月16日ご逝去
扇浦出身



小笠原村商工会

副会長	安藤光一
理事	築館俊一
理事	打込由美子
理事	山田和子
理事	赤間泰子
理事	瀬堀ロッキ
理事	橋本清夫
理事	宮城幸弘
理事	太田幸弘
理事	前田幸弘
理事	伯山航司
理事	石井亮
理事	辻井麻里子
理事	森下雅美
理事	登地雅美
監事	

小笠原島漁業協同組合

代表理事組合長	菊池勝貴
副組合長	石井勝彦
理事	小林幸宗
理事	高瀬吉安
理事	関川伴夫
理事	小川剛
理事	浅沼茂
理事	高嶺春夫
代表監事	
代表理事	
監事	

小笠原母島漁業協同組合

代表理事組合長	平賀秀明
副組合長理事	森正博
理事	佐々木隆幸
理事	有賀正治
理事	石原正義
理事	川上信義
理事	木村好孝
代表監事	宮川辰美
監事	

一般社団法人 小笠原村観光協会

副会長	森田康弘
理事	金子尚隆
理事	江口克己
理事	島田大輔
理事	増山博隆
理事	竹澤大子
理事	辻井麻里子
理事	登地雅美
理事	片岡大志
理事	菊地大志
理事	小田川博夫
理事	佐藤博志
監事	

一般社団法人小笠原母島観光協会

代表理事	平賀洋子
理事	築館俊一
理事	奥山隆一
理事	下条敬明
理事	伯山航司
理事	藤井大作
理事	茂木雄二
理事	早川保
監事	



本社
〒108-0023 東京都港区芝浦3-7-9
電話 03-3451-5171(代)
FAX 03-3451-4522
父島営業所
〒100-2101 東京都小笠原村父島字東町
電話 04998-2-2111



五洋建設株式会社

東京土木支店	執行役員 町田周一
支店長	
小笠原工事事務所	工事所長 成清友昭
代表取締役	
東京土木支店	〒112-8576 東京都文京区後楽二丁目2番8号 電話 〇三―三八―七八八三〇 FAX 〇三―三八―七八八五一
小笠原工事事務所	〒100-2101 東京都小笠原村父島字奥村 電話 〇四九九八―二―二三一三



鹿島建設株式会社

東京土木支店	常務執行役員支店長 瀬口智勝
代表取締役	
硫黄島工事事務所所長	網野秀生

東京土木支店	〒107-8477 東京都港区元赤坂一―三―八 支店電話 〇三―三四〇四―五五一(大代)
硫黄島工事	〒350-1305 埼玉県狭山市入間川四―二四―一六 入間事務所電話 〇四―二九五四―六〇四六(代)



杉田建設興業株式会社

取締役会長	杉田正己
代表取締役社長	岡部一郎
小笠原支店長	沼田行夫
本社	〒264-0017 千葉市若葉区加曽利町一〇―一八 電話 〇四三(三三)四八七四(代) FAX 〇四三(三三)四八七六
小笠原支店	〒100-2101 東京都小笠原村父島字清瀬 電話 〇四九九八―二―二二六 FAX 〇四九九八―二―三六七

株式会社 オー・シー・エフ

代表取締役	鯨江慎二
〒100-2101 東京都小笠原村父島字奥村	
電話 〇四九九八―二―二三三四(代)	
FAX 〇四九九八―二―三三六六	



環境保全株式会社

農業・土壌分析所・地質調査・建設業・飲料水分析 環境計量証明事業・作業環境測定機関・放射線測定 ダイオキシン分析・一級建築士事務所・温泉成分分析業	
ペンション扇浦	〒100-2101 東京都小笠原村父島字扇浦
代表取締役	奥山弘史
電話	〇四九九八―二―三三五五
東京本社	〒192-0445 東京都八王子市大和田町二―四―一四 電話 〇四―二六六〇―五九七九(代表)
東京支社・九州支社・北陸支社・名古屋営業所・大阪営業所	

司法書士 玉井事務所

玉井由紀則	
〒105-0014 東京都港区芝三ノ十六ノ一	
電話 〇三―三四五一―四三六四	
FAX 〇三―三四五一―四二三〇	

日章建設株式会社

代表取締役 宮川憲也	
本社	〒100-2211 東京都小笠原村母島字元地 電話 〇四九九八―三―二二三三
父島営業所	〒100-2101 東京都小笠原村父島字奥村 電話 〇四九九八―二―二五七〇
東京支店	〒108-0014 東京都港区芝五―二七―三 電話 〇三―三四五七―四〇一

小笠原みやげ・医薬品
資生堂・カネボウ化粧品

アサヒ薬局

〒100-2101 東京都小笠原村父島字東町	
電話 〇四九九八―二―二八二一(代)	

お客様の暮らしに沿った
保険をご提案します。

自動車保険 生命保険
火災保険・地震保険 海外旅行保険
がん保険・医療保険 国内旅行保険
ゴルフ保険

(一財)東京都人材支援事業団指定幹事損害保険代理店

東京エイドセンター

〒163-0943 東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モリス16F
TEL:03-5381-8450(代)

東京エイド 検索 AID 20170309-011

一般社団法人 硫黄島帰島促進協議会

顧問	三宅正彦
顧問	大澤博一
相談役	奥田昭
会長	高橋猛次
副会長	佐々木高治
副会長	麻生憲司
理事	伊藤謙一
理事	新井博雄
理事	楠島三美
理事	宮田清
理事	森田貢
理事	齋藤文雄
庶務	福島信雄

株式会社 共勝丸

代表取締役 本田秀之	
本社	〒986-0853 宮城県石巻市門脇青葉西六十五番地 電話 〇二二五―九五―〇七六三
東京営業所	〒104-0054 東京都中央区勝どき五―一―九 電話 〇三―三三三三―二六七一
FAX	〇三―三三三三―二六七二
小笠原出張所	〒100-2101 東京都小笠原村父島字東町 電話 〇四九九八―二―二三九〇

最新の運航スケジュールは、ホームページでご覧いただけます。

小笠原興発株式会社

取締役会長 山崎止	
取締役社長 中山雅章	
〒100-2211 小笠原村母島字元地	
電話 〇四九九八―三―二二五〇	
FAX 〇四九九八―三―二二四八	

小笠原マリン

ヤマハボートヨット・船外機・遊覧船 グラスボート・コーラル・釣具・ 漁具全般・機械修理	
代表 菊池順	
〒100-2101 小笠原村父島字東町	
TEL 〇四九九八―二―二九一七	
FAX 〇四九九八―二―二九一六	

謹賀新年

伊豆七島・小笠原諸島の金融機関

七島信用組合

理事 長 土井 宏行
小笠原支店長 平林 宏行
本部・本店 〒100-0101 東京都大島町元町四―一―三
電話 ○四九九二―一六六―
小笠原支店 〒100-2101 東京都小笠原村父島字東町
電話 ○四九九八―二七四―〇

社会福祉 小笠原村社会福祉協議会

会長 菊池 聰彦
副会長 稲垣 直彦
副会長 平賀 洋子
〒100-2101 東京都小笠原村父島字奥村
小笠原村地域福祉センター内
TEL○四九九八(二)二四八六
FAX○四九九八(二)三四〇〇

東京島しょ農業協同組合

小笠原父島支店・小笠原母島店

代表理事組合長 菊池 勝男
常勤理事 早川 良一
非常勤理事 清水 明子
監事 小田 好子
運営委員 笹本 トメ子
福田 真琴
上松 朗生
藤谷 明憲

〒100-2101 東京都小笠原村父島字奥村
東京島しょ農業協同組合小笠原父島支店
電話○四九九八(二)二九三二(代)
東京島しょ農業協同組合母島店
電話○四九九八(二)二二二二

関東運輸局指定民間車検工場

(有)小笠原整備工場

代表取締役 曾根 博義
〒100-2101 小笠原村父島字奥村
TEL○四九九八―二二二四―五
FAX○四九九八―二二二七―七
Email: seih@k5.dion.ne.jp
レンタル部
TEL○四九九八―二二二六―二六
<http://ogasawara-rentalcar.com/>
E-mail: chichijima_@ogasawara-rentalcar.com

大昭産業株式会社 観光部

ホテル ビーチコマ

代表取締役 沖山 誓一
チーフマネージャー 友野 裕亮



予約連絡先
〒166-0002 東京都杉並区高円寺北二―一〇―一六四〇一
TEL ○三三三三三六―七六九
FAX ○三三三三三六―七七〇七
ホテル
〒100-2101 東京都小笠原村父島字福浦
TEL・FAX ○四九九八―二二九四―
ブログ http://blog.livedoor.beach_komatsu/



第七 貴丸 菊池 勝 貴

〒100-2101 小笠原村父島字奥村



(株)パパヤマリンスポーツ
東京都小笠原村父島字西町 〒100-2101
TEL:04998(2)2377 FAX:04998(2)3338
Dolphin Swim & Whale Watch
TROPICAL INN PAPAYA MARINE SPORTS
<http://www.interq.or.jp/blue/papaya>

あけまして
おめでとーございます

有限会社 丸 太

代表取締役 金子 秀雄
〒100-2101 小笠原村父島字東町
電話○四九九八―二〇三〇―

観光を通じて地域作りを目指す！

(株)小笠原ツーリスト

〒100-2101 東京都小笠原村父島字東町
電話 ○四九九八―二七七七―
FAX ○四九九八―二七七七―四
ペンション・キャベツビーチ

〒100-2101 東京都小笠原村父島字東町
電話 ○四九九八―二二二六―
FAX ○四九九八―二二二二―
代表取締役 佐藤 文彦

有限会社 割烹若ざわ

富海亭

取締役 若澤 和夫

〒424-0904 静岡市清水区駒越中一―一七―三十八
電話(〇五四)三三三―二二二五番

小笠原 フリーショップまるひ

★おみやげ・オリジナルTシャツ
文具・雑貨・生活用品



〒100-2101 東京都小笠原村父島東町
TEL 04998(2)2042
FAX 04998(2)2563
代表取締役 菊池 歌子

日用品雑貨・衣料・おみやげ
鮮魚・鳥えび

有限会社 スーパー小祝

社長 小祝 栄一
〒100-2101 小笠原村父島字東町
店 電話 ○四九九八―二二二七―
フラッキー 電話 ○四九九八―二二二七―
自宅 電話 ○四九九八―二二二五―

電気、給排水、衛生、空調、家電品販売、
コピーサービス

株ときわ

本店 〒100-2101 東京都小笠原村父島字東町
TEL○四九九八―二二四六(代)
支店 〒100-2211 東京都小笠原村母島元地
TEL ○四九九八―三二二五―五

(株)小笠原ダイビングセンター

器材販売・貸出・ガイド
水中撮影・エアリチャージ
コンドミニウム・
ダイビング・ホテル・ドルフィンウォッチング

代表取締役 森田 康弘
〒100-2101 小笠原村父島字東町
電話○四九九八―二二〇二―

割烹 山 下 義 文

〒100-2101 小笠原村父島字東町
電話 ○四九九八―二二二七―
○四九九八―二二二七―三

小笠原母島漁協所属

第八神徳丸 佐々木 隆 幸
船主
〒100-2211 小笠原村母島字元地
電話 ○四九九八―三二二四―八

前田 商店

食料品・雑貨
前田 豊
〒100-2211 小笠原村母島字元地
電話 ○四九九八―三二二二―

イルカ・クジラの海へご案内

ドルフィンスイム・FUNダイビング
体験ダイビング・各種講習・水中調査
マリンコンダクターエスコート
TEL 04998-2-3824
<http://www.do-escoet.com/>

しろあり防除センター

イエシロアリ害虫駆除・予防・調査
(財)日本しろあり対策協会会員 東京078
しろあり防除施工士8770号

(有) エスコート 杉浦 正明

代表取締役
〒100-2101 東京都小笠原村父島字東町
TEL 04998-2-2813 FAX 04998-2-2828

株式会社 品川建設

代表取締役 品川 一郎

〒100-2101 小笠原村父島字奥村
電話 ○四九九八―二二〇五―六
FAX ○四九九八―二二〇五―八

民宿境浦ファミリー

遠藤 あや子

〒100-2101 東京都小笠原村父島字境浦四八
電話 ○四九九八―二二五三―〇

小笠原消費生活協同組合

生鮮食料品輸入食料品等

理事長 瀬堀 ロッキ
〒100-2101 小笠原村父島字東町
電話 ○四九九八―二二二四―
FAX ○四九九八―二二二四―二

沖山電機株式会社

代表取締役 沖山 達夫

〒100-2101 小笠原村父島字奥村
TEL○四九九八―二二三四―
FAX○四九九八―二二三四―三

サクタ工務

土木工事 造成 解体

代表 作田 行啓

〒100-2101 東京都小笠原村父島字奥村二一五〇一
電話・FAX ○四九九八―二二五三―三

小笠原カス株式会社

代表取締役 打込 嘉高

〒100-2101 小笠原村父島字東町
電話 ○四九九八―二二八―六

ガソリン・スタンド 小笠原商事有限公司

代表取締役 岸 一郎

〒100-2101 小笠原村父島字西町
TEL○四九九八―二二二〇―七

民宿 たつみ

沖山 ルリ子

〒100-2101 小笠原村父島字奥村
電話○四九九八―二二二七―五

ボンブルー シマの宿 ちどり

島田 律子

〒100-2101 小笠原村父島字東町
電話○四九九八―二二二二―八
FAX ○四九九八―二二二二―三

株式会社 トマック

代表取締役 藤井 広記
常務取締役 松本 真樹
〒136-0064 東京都江東区青海二丁目4番24号
電話 ○三三六三―一五四八―五
FAX ○三三六三―二九二四―

公益財団法人 小笠原協会

謹賀新年

会長 洪井 信和

常務理事 菊地 輝雄

理事 安藤 光一

理事 岡 小枝子

理事 菊池 勝貴

理事 杉田 正己

理事 谷川 浩也

理事 森下 一男

理事 森田 裕一

理事 鈴木 茂

監事 内田 峰夫

監事 荒井 滋

評議員 石井 正則

評議員 稲垣 政孝

評議員 佐々木日出子

評議員 佐藤 洋美

評議員 寒川 蔵雄

評議員 田代 義一

評議員 中村 益美

評議員 鯉江 満

評議員 水野 勇

評議員 山口 真

評議員 若澤 美義

事務局長 菊地 輝雄

事務局次長 塩谷 好広

小笠原DAY 2018

開催ご案内

小笠原村観光局

今回で6回目となる小笠原村観光局主催「小笠原DAY」の日程と開催会場をご案内します。

【開催日時】平成30年2月12日(月) 15時から19時

【開催会場】竹芝客船ターミナル 第2待合所

このイベントは、小笠原村の外部組織として、東京諸島観光連盟内に配置され、小笠原の観光振興を担っている小笠原村観光局が、小笠原のセールス・PR活動の一環として主催するものです。

皆様 ありがとうございます

平成29年11月30日まで

法人特別賛助会費

▽二口 (株)小笠原整備工場

個人特別賛助会費

▽三口 相馬 観成

▽四口 相馬 観成

森内 春香

柴田 恭輔

柴田 勝美

塚田 貴子

小宮 秀明

笹島 敏子

笠原トヨ子

坂部 大

宮田 弘樹

高橋 恵子

鈴木 聡

岸 貴美子

本間 健一

深澤 学

柏原 哲隆

村野 朋光

石倉 綾子

久保田 行

新規入会者

鈴木 勝美

橋本 直子

飯田 和江

飯田 正夫

松崎 恵

齊藤 幸子

武士保純子

染谷 太

染谷 俊太

笹岡 純子

塩木 一美

倉持 稔

倉持 初美

山内 悠司

山内 徳子

平山 宏幸

岡本 数春

大津多津典

寄付金

▽H29年新年号広告

(三万円) 日章建設(株)

(二万五千円) (株)共勝丸

(二万五千円) (株)オー・シー・エフ

(二万円) 小笠原興発(株)

(二万円) 小笠原ガス(株)

(株)小笠原整備工場

(株)小笠原母島観光協会

神徳丸 佐々木 隆幸

(株)エスコート 杉浦 正明

(株)スーパースト 小笠原村商工会

(株)小笠原村観光協会 (株)品川建設

(株)小笠原マリン (株)とさわ

東京島しょ農業協同組合小笠原支店 小笠原母島店

(株)小笠原ダイビングセンター

【小笠原DAYの概略】

○参加費 無料

物販や一部飲食は有料

○参加対象

小笠原島民

小笠原ファン・リピーター

小笠原関係者

メディア・旅行会社各社

竹芝客船ターミナル利用者

○イベント内容(予定)

①飲食の無償提供(一部有償)

②ステージライブ等

③小笠原特産品の販売

④おがさわら丸のお出迎え

⑤写真やパネルの展示等

⑥オガジロウ登場!

ご参加お待ちしています

平成29年12月1日現在 ()内は前年同月	平成29年11月気象状況 ()内は前年同月(父島)
住民基本台帳登録者数	最高気温 29.1℃ (29.1℃)
○世帯 1,517世帯 (1,492世帯)	最低気温 17.7℃ (19.3℃)
父島 1,243世帯 (1,226世帯)	平均気温 24.0℃ (24.1℃)
母島 274世帯 (266世帯)	平均湿度 74% (76%)
○人口 2,648人 (2,593人)	月降水量 135.5mm (86.5mm)
父島 2,167人 (2,128人)	(気象庁 ホームページ)
母島 481人 (465人)	平成29年11月中の来島者数 ()内は前年同月(父島)
	定期船 1,634人 (2,193人)
	観光船 812人 (0人)

小笠原のトマトは如何ですか！

母島から「小笠原トマト」販売のご案内です。

「A東京島しょ小笠原母島店では、例年どおり小笠原の美味しい小笠原トマトを直送します。

旬を迎えた小笠原トマトは、燦々と降り注ぐ太陽の光と、自根栽培が可能な健康な土壌で育てられています。

また、農薬の使用を極力控え、人と環境に優しい減農薬栽培を心掛けています。

今年も天候に恵まれ、品質に自信を持ってご案内させていただきます。

○誠に恐れ入りますが、数に限りがございます。ご注文に際しましては下記電話番号により「価格等」ご確認のうえご注文ください。

○お問合せ

TEL: 04998-3-2331

FAX: 04998-3-2345

「A東京島しょ小笠原母島店」

※発送は2月初旬より概ね週に一度の船便にておこないます。島の農家が丁寧に栽培しており、大量生産ができない為、一便でお送りできる数には限りがあります。お申込みいただいた順にお送りいたしますが、商品到着までお時間がかかる場合がありますことをご了承ください(人気商品の為、2か月程お待ちいただく場合もあります)。

また人気商品の為、早期に予約切が埋まることが予想されます。売り切れの場合はご容赦願います。

寄付金(法人)

(一万円) 太平洋建設(株)

(五千円) 小笠原グリーン(株)

東京島しょ農業協同組合小笠原母島店

寄付金(個人)

(一万円) 大平 京子

(二万円) 笠原トヨ子

(株)フリーショップ マルヒ

(株)小笠原村社会福祉協議会

ペンションキャベツビーチ

割烹ばう家

小笠原消費生活協同組合

七島信用組合

前田商店(株)

小笠原島漁業協同組合

小笠原母島漁業協同組合

民宿境浦ファミリ

民宿境浦ファミリ

民宿境浦ファミリ

第七貴丸 菊池勝貴

サクタ工務

小笠原商事(株)

ボニンブルシマの宿 ちどり

寄付金(法人)

(一万円) 太平洋建設(株)

(五千円) 小笠原グリーン(株)

東京島しょ農業協同組合小笠原母島店

寄付金(個人)

(一万円) 大平 京子

(二万円) 笠原トヨ子

小笠原航路時刻表

(平成30年1月～30年6月)

ハートロック(千尋岩)

運航月時刻	東京発	父島着泊	父島泊	父島泊	父島発	東京着	父島泊数
	11:00	11:00	—	—	15:30	15:30	
1月	6(土)	7(日)	8(月)	9(火)	10(水)	11(木)	3泊
	12(金)	13(土)	14(日)	15(月)	16(火)	17(水)	
	18(木)	19(金)	20(土)	21(日)	22(月)	23(火)	
1月24日(水)～2月6日(火)までの間、おがさわら丸はドック入りします。							
2月	7(水)	8(木)	9(金)	10(土)	11(日)	12(月)	2泊
	13(火)	14(水)	15(木)	16(金)	17(土)	18(日)	
	20(火)	21(水)	22(木)	23(金)	24(土)	25(日)	
3月	26(月)	27(火)	28(水)	3/1(木)	3/2(金)	3/3(土)	3泊
	4(日)	5(月)	6(火)	7(水)	8(木)	9(金)	
	10(土)	11(日)	12(月)	13(火)	14(水)	15(木)	
4月	16(金)	17(土)	18(日)	19(月)	20(火)	21(水)	父島折り返し
	22(木)	23(金)	24(土)	25(日)	26(月)	27(火)	
	28(水)	29(木)	30(金)	31(土)	4/1(日)	4/2(月)	
5月	3(火)	4(水)	5(木)	6(金)	7(土)	8(日)	3泊
	10(火)	11(水)	12(木)	13(金)	14(土)	15(日)	
	※1 16(月)	17(火)	18(水)	19(木)	20(金)	21(土)	
6月	※2 22(日)	23(月)	24(火)	25(水)	26(木)	27(金)	父島折り返し
	28(土)	29(日)	—	—	29(日)	30(月)	
	1(火)	2(水)	—	—	2(水)	3(木)	
7月	4(金)	5(土)	—	—	5(土)	6(日)	3泊
	7(月)	8(火)	9(水)	10(木)	11(金)	12(土)	
	13(日)	14(月)	15(火)	16(水)	17(木)	18(金)	
8月	※3 19(土)	20(日)	21(月)	22(火)	23(水)	24(木)	4泊
	25(金)	26(土)	27(日)	28(月)	29(火)	30(水)	
	1(金)	2(土)	3(日)	4(月)	5(火)	6(水)	
9月	※4 7(木)	8(金)	9(土)	10(日)	11(月)	12(火)	3泊
	15(金)	16(土)	17(日)	18(月)	19(火)	20(水)	
	※5 22(金)	23(土)	24(日)	25(月)	26(火)	27(水)	
10月	28(木)	29(金)	30(土)	7/1(日)	7/2(月)	7/3(火)	3泊

※1・2 久里浜寄港便。父島着、東京着ともに40分遅延到着。

※3 館山寄港便。父島着、東京着ともに40分遅延到着。

※4 父島4泊

※5 八丈島寄港便。往路東京発10:00・父島10:40着。復路東京着16:10。

お問い合わせ先 小笠原海運株式会社 ☎ 03-3451-5171

さあ！母島へ行こう

母島への航路(ホエールライン)

母島は父島の南約50kmに位置しその広さは約21km²です。島の中央に乳房山(463m)があり島の周囲は58kmあります。母島を観光される方は、下記の時刻表でぜひ訪島してください。

(平成30年1月～30年6月)

運航月時刻

おがさわら丸 父島入港日

おがさわら丸 父島入港の翌日

おがさわら丸 父島出港日

ゆり丸 運航日

その他の日

運休日

運航時刻	父島出港	12:00	※はゆり丸 12:00		7:30	※はゆり丸 7:30	7:30	7:30	
	母島入港	14:00	14:20		9:30	9:50	9:50	9:30	
	母島出港			14:00	12:00	12:00	14:00	14:00	
運行月日	父島入港			16:00	16:20	14:00	14:20	16:20	
	H30 1月	7(日) ※13(土) ※19(金)	8(月) ※14(日) ※20(土)	3(水) 10(水) ※16(火) ※22(月)	12(金) 15(月) 21(日) 26(金) 30(火)	18(木) 24(火) 28(日)	1(月) 6(土)	2(火) 9(日)	5(金) 4(木) 11(水) 17(火) 23(火) 27(土) 29(月)
	2月	8(木) 14(水) 21(火) 27(火)	9(金) 15(木) 22(水) 28(水)	※10(土) 17(土) 24(土)	1(木) 5(月) 7(水)	3(土)	12(月) 19(月) 26(月)	13(火) 20(火) 23(金)	16(金) 23(金) 2(金) 6(火) 11(日) 18(日) 25(日)
運行月日	3月	5(月) 11(日) 17(土) 23(金) 29(金)	6(火) 12(月) 18(日) 24(土) 30(金)	2(金) 8(木) 14(水) 20(火) 26(月)	おがさわら丸 父島入出港日 父島出港 7:30 母島入港 9:30 母島出港 10:30 父島入港 12:30	1(木) 7(水) 13(火) 19(月) 25(日) 31(土)	4(日) 10(土) 16(金) 22(木) 28(水)	3(土) 9(金) 15(木) 21(水) 27(火)	
	4月	4(水) 11(火) 17(火) 23(月) 29(日)	5(木) 12(水) 18(水) 24(火) 26(木)	1(日) 7(土) 14(土) 20(金) 26(火)	父島出港 13:30 母島入港 15:30 母島出港 16:00 父島入港 18:00 4/29・5/5は上記の時刻で運行	3(火) 9(月) 16(月) 22(土) 28(金)	6(金) 10(火) 19(火) 25(水) 30(日)	2(月) 8(日) 15(日) 21(土) 27(金)	
	5月	8(火) 14(月) 20(日) 26(土)	9(水) 15(火) 21(月) 27(日)	11(金) 17(木) 23(水) 29(火)	父島出港 7:30 母島入港 9:30 母島出港 10:00 父島入港 12:00 父島出港 14:00 母島入港 16:00	1(火) 4(金) 13(日) 19(土) 25(金) 31(木)	7(月) 16(火) 22(火) 28(月)	10(木)	6(日) 12(土) 18(金) 24(木) 30(火)
6月	2(土) 8(金) 16(土) 23(土) 29(金)	3(日) 9(土) 17(日) 24(日) 30(土)	5(火) 12(火) 19(火) 26(火)	5/2は上記の時刻で運行 母島出港 15:00 父島入港 17:00 5/3は上記の時刻で運行	1(金) 7(木) 14(水) 21(火) 28(木)	4(月) 10(日) 15(金) 22(金)	11(月) 18(月) 25(月)	6(火) 13(水) 20(火) 27(火)	

※1月12日(金)～2月10日(土)は、ははじ丸ドッグ入りのため代船「ゆり丸」で運行いたします。(所要時間2時間20分)

お問い合わせ先 伊豆諸島開発株式会社 ☎ 03-3455-3090